

お月さまと ぞう

小川未明

青空文庫

「^{しょう}正ちゃんと よし子こさんが、ごもんのところへ たらいを
だして、^{みず}水を いれると、まんまるな 月つきの かおが うつつて、
にここにこと わらいました。」

「さあ、わたしを よく みて ください。」
と、月つきが いいました。

「^{おお}大きな お月つきさまね。」
と、よし子こさんが よろこびました。

「あの くろいのが うさぎかしらん。」
と、^{しょう}正ちゃんとが あたまを かしげました。

「ほんとうの うさぎ？」

と、よし子^こさんが ききました。

「ああ、ぼうえんきようが あると、よく わかるのだよ。」

正^{しょう}ちゃんは あおむいて、お月^{つき}さまを ながめました。

「わたし、くびが いたく なるから、おたらいのを みましようよ。」

この とき、あちらが がやがやしました。

「ごらん、ぞうが きた。」

と、正^{しょう}ちゃんが びつくりしました。

大^{おお}きな ぞうが、おうらいを あるいて きました。サーカスが、どこかへ いくのです。

ちかちか ひかる、青^{あお}い きものを きた おねえさんと、く

ろい　ズボンを　はいた　男おとこが、むちを　もって、ついて　きま
す。

「こわいわ。」

と、よし子こさんは　おうちへ　はいろうと　しました。

「ぞうは　おりこうだから　こわく　ないよ。」

と、正しょうちゃんは　とめました。

ごもんの　まえに　くると、ぞうは　こちらを　むいて、なが
い　はなで　たらいの　水みずを　すうと　のみほしました。

「あら、お月つきさまを　のんで　しまったわ。」

と、よし子こさんが　いいました。

「おいたを　しては　いけません。」

と、ぞうは おねえさんの
むちで、ピシりと
たたかれました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 16」講談社

1978（昭和53）年2月10日第1刷発行

1982（昭和57）年9月10日第5刷発行

初出：「コドモノヒカリ」

1937（昭和12）年10月

※表題は底本では、「お月《つき》さまと ぞう」となっています。

※初出時の表題は「オ月サマト象」です。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正・・Juki

2012年7月16日作成

2012年9月27日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

お月さまと ぞう

小川未明

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>